

いずみさの教育NOW
夏だ！プールだ！学校水泳だ！

問合先
学校教育課

夏だ！プールだ！学校水泳だ！

今年も暑い季節がやってきました。多くの子どもたちが学校水泳を楽しみにしています。

かつて本市では、各学校にプールがなく、市営プールを利用したり、健康増進センターの温水プールを順に利用したりして、学校水泳を実施してきました。そのため、プールまでの移動に時間がかかり、「学習指導要領解説」にも、「水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができる」と記載されていることもあり、必要最小限の指導に留まっています。

しかし、平成30年度から順に学校プールや市営プールを新設し、令和5年度からは、市内の全小・中学校にて学校プールまたは隣接する市営プールでの学校水泳が実施できるようになりました。これにより、どの学校も十分な授業時数を確

保して、「学習指導要領」の内容を満たす学習ができるようになりました。

少しその内容を紹介します。小学校低学年は「水遊び」。水の中を移動する「もぐる・浮く」運動遊びをとおして、水に対する不安感を取り除くことや水の中で遊ぶ楽しさ・心地よさを味わうことを大切に活動します。中学年は「水泳運動」、高学年は「フロール」「平泳ぎ」「安全確保につながる運動」を学習します。技能面では、手足の動きに呼吸を合わせながら泳ぐことや、背浮きや浮き沈みをしながらか安定した呼吸をすることを身に付けます。中学校では、「フロール」「平泳ぎ」などの泳法、浮く、呼吸をする、進むなどそれぞれの技能の組み合わせによって、効率的に長く・速く泳ぐ技術を学びます。今年度も安全に十分配慮しながら、充実した学校水泳を行っていきます。

学校園紹介



自分たち学びを地域社会に生かす
～第三小学校～

本校は、ICTの活用を推進しながら、未来を生きる子どもたちに、必要とされる学力の育成に取り組んでいます。

昨年度の12月に、5年生の子どもたちが「泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品」を考えました。これは総合的な学習や社会科などの横断的な学習の取組でした。いよいよ、自分たちが考えた返礼品のプレゼンテーション場面には、千代松市長をはじめ、ふるさと創生課、泉佐野市教育委員会、報道関係のみなさんがきてくださり、緊張しながらも子どもたちは立派に発表することができました。

3月には、実際に返礼品として採用されることが決まったサンプル品を市長が持ってきてくださり、子どもたちは大喜びでした。

今後も、人々の温かさにつれ、子どもたちが豊かに成長してくれる事を願っています。



第三中学校がずっと大事にしていること
～第三中学校～



第三中学校は、ずっと「人権」という言葉を大事にしている学校です。「人権」とは「やさしさ」だと考えています。人権教育の取組の一つとして、多文化・異文化共生（違いを認め合って、共に生きる）教育にも力を入れています。

この取組として、4月3日にモンゴル国トゥブ県の中学生7人と教師1人、県議会議員1人が来校され、本校バレーボール部の生徒と練習や試合・色紙交換などを行い、3時間程度楽しい時間を過ごすことができました。

バレーボール部の子どもたちは、「言葉は通じなかったけれどもバレーボールを通じてスポーツの楽しさを感じる事が出来て良かった」と話していました。

今後も機会があれば、多文化・異文化交流を積極的に実施していきたいと思っています。

